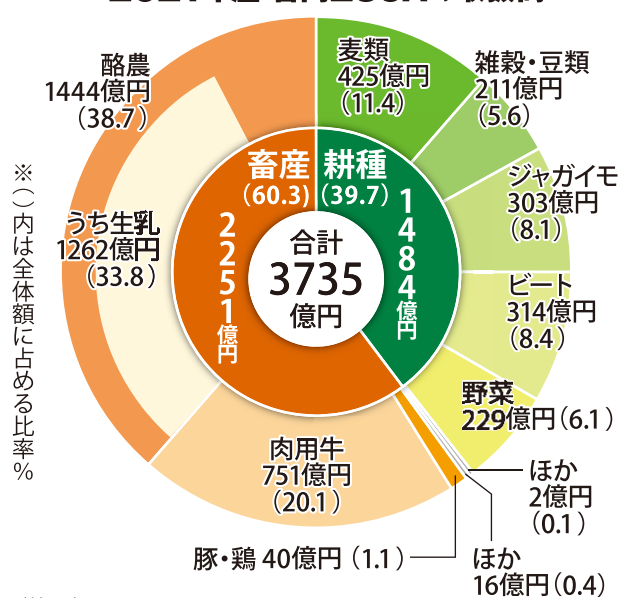


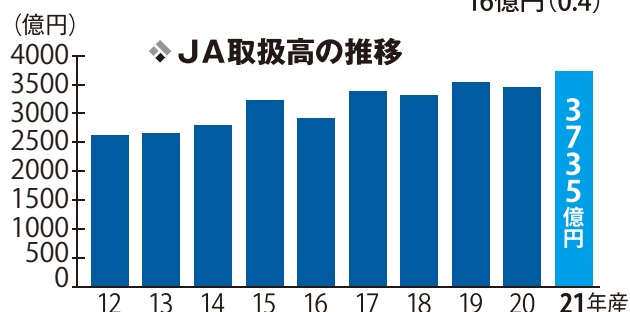


干ばつの中でも小麦の豊作などでJAの取扱高が大きく伸びた十勝農業

◆ 2021年産 管内23JAの取扱高



◆ JA取扱高の推移



十勝農業は昨年、管内23JAの農畜産物の取扱高(概算)が3735億円に達し、過去最高額を更新した。6、7月の高温少雨の影響が懸念された中でも、農作物全般で収量を確保した。2022年も新型コロナウイルスの影響が影を落とすが、高い取扱高が期待される。

耕種(畑作)部門は1484億円で前年比13%増。過去最高額(15年の1409億円)を更新した。6、7月下旬の高温少雨で地域やほ場、作物によっては影響を受けたが、小麦の収量が平年を大きく上回り、全体の数字を押し上げた。

小麦は6、7月の開花期、出穂期に日照時間が多かったことで収量、品質共に恵まれ、取扱高は前年から30%増えた。豆類は小豆とインゲンで高温少雨の影響は見られたものの、大豆は平年より収量が増え、8%増だった。ジャガイモは13%増。収穫時期の早い品種に干ばつの影響が出たが、その他の品種では収量を確保。生食用販売単価が上がり、取扱高を伸ばした。

ビートは14%増だった。糖度は前年を上回る16.3%だったが、基準糖度(16.6%)は下回った。根の大きさを示す「根周(こんしゅこ)」は平年より成長し、収量が伸びた。

一方で野菜は3%減。高温少雨の影響でダイコン、タマネギ、スイートコーンなどで収量が減少した。

〈総括〉 十勝農業、過去最高3735億円 食料自給率133.9%

世界的にも重要な 食料基地の北海道には 安定した貯蔵施設が 欠かせない。

アイスシェルター

寒冷気候と水の自然エネルギーだけで
冬は0℃まで暖房、夏は0℃まで冷房。

CO₂
排出ゼロ

自然氷を
氷室として
通年貯蔵に!!

地球
温暖化
防止に
貢献

ZERO
CARBON
HOKKAIDO



脱炭素チャレンジカップ2021
環境大臣賞金賞受賞
(企業・自治体部門)



平成30年度
地球温暖化防止活動
環境大臣表彰
技術開発・製品化部門



平成29年度
新エネルギー大賞
氷を貯蔵した千年氷室
新エネルギー財団会長賞

アイスシェルターの用途例(一例)
● カールフレックスおひろ(帯広市)
● チーズ工房タカラ(喜茂別町)
● 東洋食肉販売(株)十勝事業所(帯広市)
● 農産物貯蔵庫(モンゴル・ウランバートル市)

Think globally Act locally
株式会社 土谷特殊農機具製作所
本社/帯広市西21条北1丁目3番2号(西帯広工業団地)
TEL.0155-37-2161 FAX.0155-37-2751

〒007-0804 札幌支店/札幌市東区東苗穂4条1丁目18番28号 TEL 011-780-2120
〒080-2461 帯広営業所/帯広市西21条北1丁目3番2号 TEL 0155-37-8833
〒088-2313 釧根営業所/川上郡標茶町常盤3丁目15番地 TEL 015-485-3333
〒086-1006 中標津営業所/標津郡中標津町東6条南11丁目3番地3 TEL 0153-73-4377
〒090-0051 北見営業所/北見市高栄東町1丁目11番37号 TEL 0157-22-6641
〒049-3105 八雲営業所/北海道八雲町東雲町107番地8 TEL 0137-66-9901
〒098-1600 興部出張所/紋別郡興部町字興部110番地5 TEL 0158-82-7267

氷室って
なに?!!
詳しくはこちら!
tsuchiyanoki.com